

【英語・中1・Lesson4 My Family, My Hometown】①

育成を目指す資質・能力

(知識及び技能)	3人称単数現在形の肯定文・疑問文・否定文の特徴やきまりを理解し、それを含む英文を聞いたり読んだりして内容を捉えることができる。
(思考力、判断力、表現力)	自分の身近な人のことについて、事実や考えを即興で話したり、伝え合ったり、書いたりすることができる。
(学びに向かう力、人間性等)	自分の身近な人のことについて事実や考えを話したり、伝え合ったり、書いたりしようとしている。

ICT活用のポイント

「話すこと[やり取り]」において、表現力を高めるためのメタ認知的活動を意識した授業

【つかむ】

JTEとALTのデモンストレーションを見て、学習の見通しをもつ

めあて

自分や身近な人のことについて友人や先生と会話をしよう。

活用場面①

【追究する】

テーマに沿った即興のやり取りをペアで行う

活用場面②

【まとめる】

自己評価と振り返りを行う

事例の概要

- ペアでのやり取りを、各自のICT端末を使って録音する。
- 録音した音声を聞きながら、これまでの学習で蓄積してきた表現を使うことができたかどうかを、ワークシートの表現集を見ながら振り返る。

事例におけるICT活用の場面①

- テーマに沿って、ペアでのやり取りを行う。その際、生徒はICT端末を使い、自分たちのやり取りの様子を録音する。

事例におけるICT活用の場面②

- ICT端末を使用して録音したやり取りを各自で聞き、これまでの学習で蓄積してきた表現の書かれた表現集(ワークシート)と照らし合わせて、自己の発話を振り返る。

【英語・中1・Lesson4 My Family, My Hometown】②

【事例におけるICT活用の場面①】



写真1

追究する過程

生徒はペアになり、テーマに沿って即興でのやり取りを行った。やり取りの際、前時までの学習で各自が蓄積してきた表現の書かれた表現集（ワークシート）を手掛かりに、自分の考えを发表或し、質問・反応等をした。最後の1回は、表現集を見ずにやり取りを行い、その音声をICT端末を使って録音した（写真1）。

<効果>

生徒が自分の行ったやり取りを直接聞くことにより、その後のやり取りの修正点を客観的に捉えられるようになった。

教師が行う「話すこと[やり取り]」の評価においても、生徒の音声データが残ることで、より客観的に評価できるようになった。

<ポイント>

全員が一斉にやり取りの録音をするため、生徒は教室全体に広がり、ICT端末のマイク部分を自分に近づけて活動に取り組んだ。

【事例におけるICT活用の場面②】



写真2

まとめる過程

生徒は、ICT端末を使って録音した自分のやり取りの音声を聞きながら、表現集に蓄積してきた表現と照らし合わせる活動に取り組んだ。その際、それらを使っていたかどうかをチェックする作業を行い、振り返りへとつなげた（写真2）。

<効果>

生徒が、自分の発話を活動後すぐに自己評価することができるようになり、「話すこと[やり取り]」における、メタ認知的活動を取り入れられるようになった。

<ポイント>

全員が一斉に録音したものを再生するため、生徒は各自、イヤホン等を使って音声を聞いた。

【活用した機能】・ICT端末の録音機能